

平成31(2019)年度 施政方針



武蔵野市長 松下 玲子

子ども子育てを 応援するまちへ

子どもは、家族の大切な一員であるとともに、社会全体にとっても大切な一員であり、未来であり、希望です。社会全体で子育て家庭を支え、子どもを産み、育てやすい環境をつくり、子どもの最善の利益を尊重し、子ども子育てを応援するまちへと歩みを進めてまいります。

平成31(2019)年度は、認可保育所3園を新設し、定員約2000名の増を目指します。

保育施設内での衛生面の向上と子育て世帯の負担軽減を図るため、市内の保育施設を対象とした、使用済み紙おむつの回収・処分事業を新た

に開始します。

更新期を迎える学校施設について、今後20年程度を見据えた具体的な整備計画を策定します。

誰もが住み慣れた地域で 安心して暮らせるまち

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、医療と介護の垣根を越えた連携の強化が重要です。第3期健康福祉総合計画に掲げた重点的取り組みを着実に実行し、「誰もがいきいきと安心して住み続けられる支え合いのまち」の実現を目指します。

武蔵野市には公立病院はなく、民間の医療法人、医療機関に市民の命を守る重要な公的な役割を担っていただいています。医療機関の現状や課題、要望を踏まえて必要な支援を行ってまいります。

個性ががやく 活力あるまち

さらに魅力と活力あるまちになっていけるよう、コンテンツを活かした新しい事業連携を検討する連絡協議会(仮称)の設置を進めます。

ふるさと納税制度の税収への影響額が年々増大する中、市の魅力発信や地域産業振興、寄附金を活用した市民サービス充実のため、「武蔵野市ふ

るさと応援寄附」事業を開始します。

脱原発、緑あふれるまち

「スマートシティむさしの」を目指して、「二酸化炭素のさらなる排出削減を図るため、蓄電池の整備、公共施設の省エネ改修などを進めていきます。

公園や緑地などの緑の拠点を整備する事業や、減少傾向にある民間の緑の質と量を高めるための取り組みを進めます。

より進んだ市民参加に 挑戦するまち

市民自治の原則を継承し、「市民自治のまち武蔵野」をさらに推進していくために、骨子案に基づき自治基本条例制定の準備を進めます。

平成32(2020)年度からの10年間を展望した第六期長期計画の策定を多様な市民参加と議員参加・職員参加で進めてまいります。

歩いて楽しいまち、 安全なまち

全国的に地震被害が多く生じている中、ハードとソフトの両面から、総合的な防災力の強化を継続的に行っていく必要があります。防災情報マップを改訂するとともに、市内の浸水予想区域図を更新し、全戸配布

します。ブロック塀等の改善補助金制度を市民に周知し、改善等を促してまいります。

歩行者や自転車等がより安全に利用できる環境を創出するため、自転車走行空間整備を推進するとともに、自転車安全教育の充実を図ります。

平和と文化をつくるまち

文化振興基本方針を具体的に進めていくため、よりよい文化行政を実践していく仕組みを検討します。

戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えるとともに、憲法の精神についての認識を深めていただくため、平和・憲法啓発事業を市民の皆様とともに推進します。

健全財政を 市民のために活かすまち

行財政改革の継続的な取り組みを進め、持続可能な財政運営を維持していく必要があります。庁内業務の効率化を推進し、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を試行導入し、今後の拡大に向けた検証を行います。

(平成31年度施政方針並びに基本的施策より要約。予算案については、P.14特集2へ)